

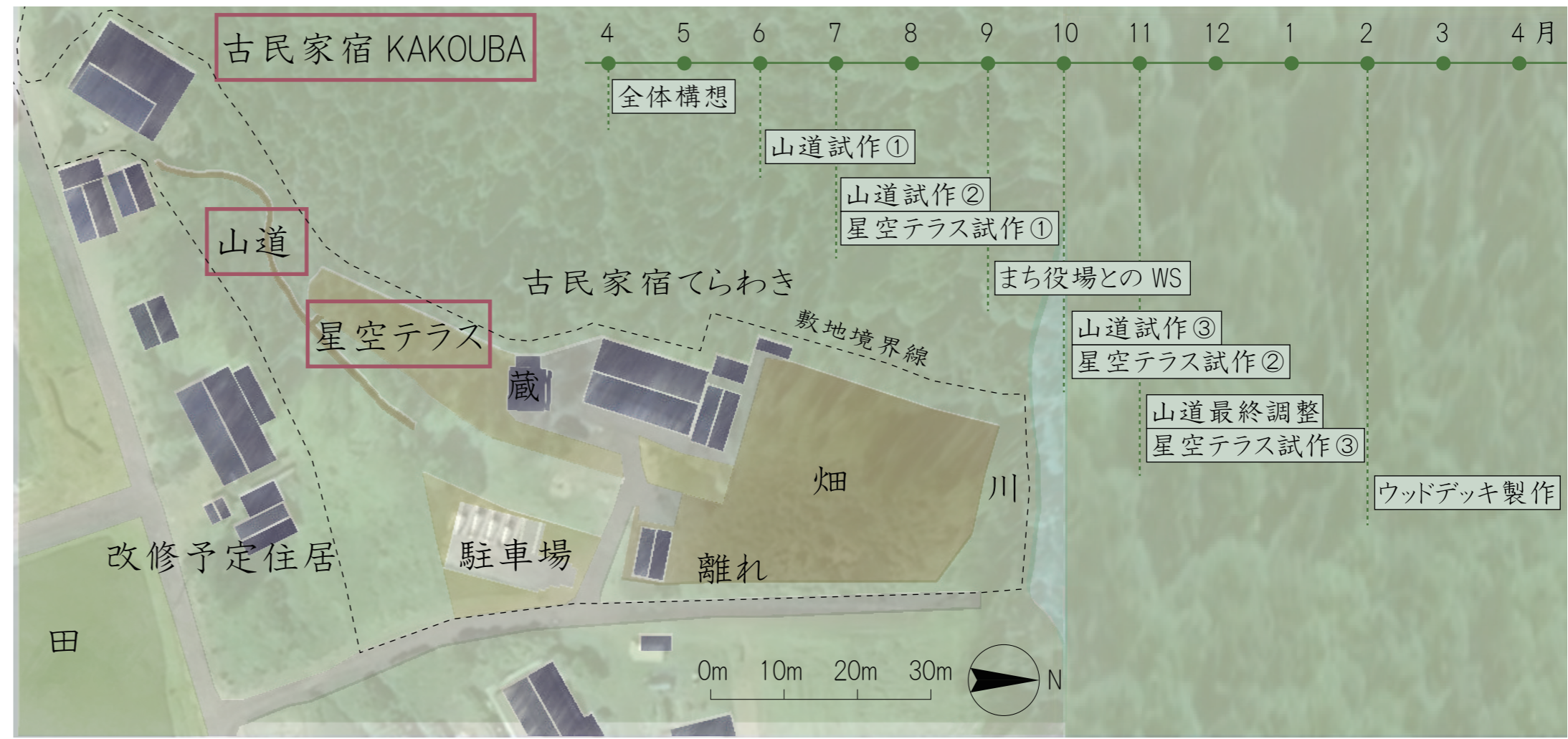
中山間地域における魅力向上および活性化プロジェクト

01 プロジェクト概要



近年、中山間地域活性化のため観光まちづくりの観点から宿泊施設の位置づけが重要となっている。宿泊施設における住民との交流の場となる空間の充実が中山間地域の活性化に寄与すると考える。本プロジェクトでは数年前から愛知工業大学と関わりのある古民家宿 & バルでらわきにおいて、中山間地域における課題解決に取り組む。

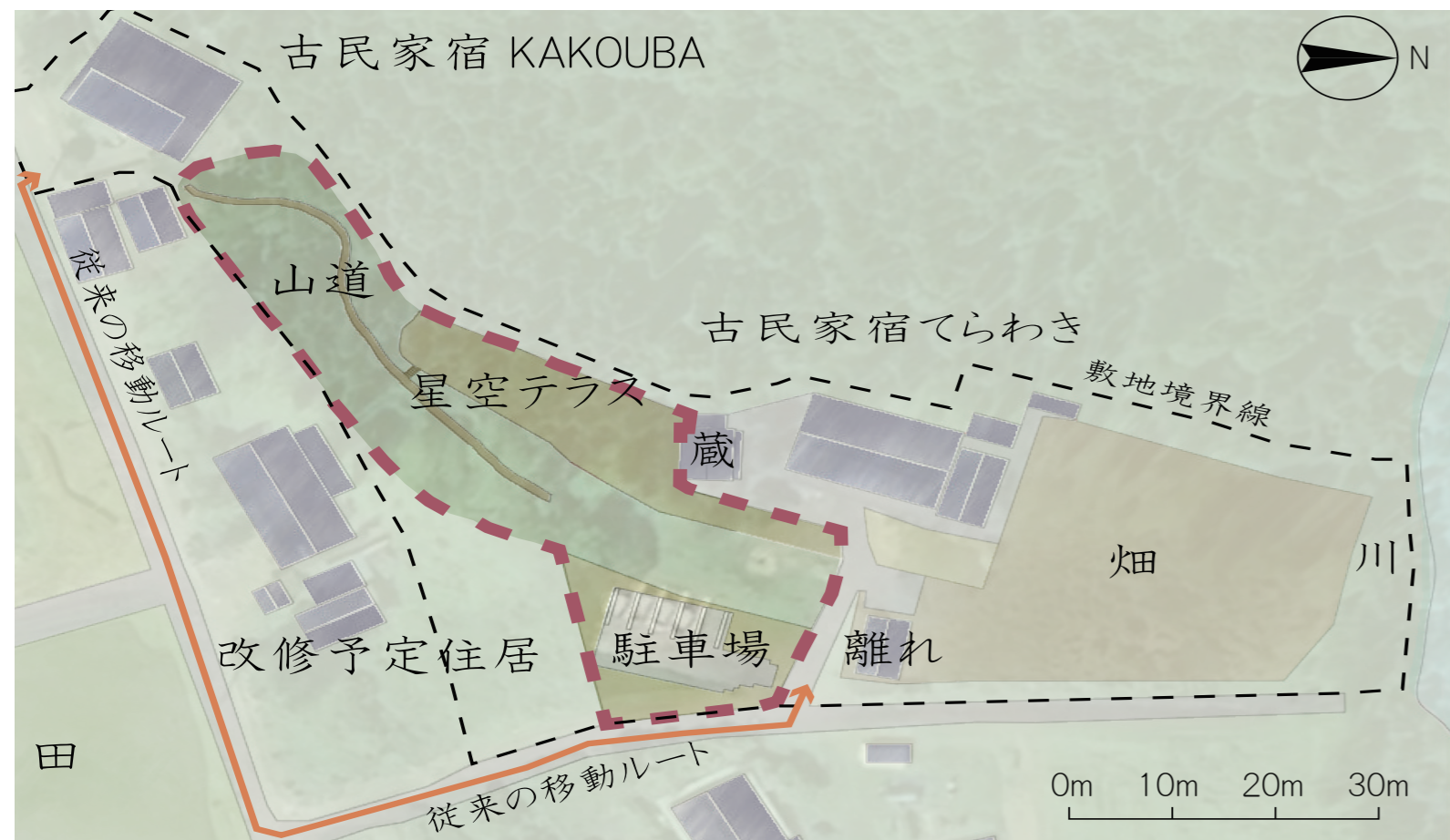
02 活動内容・スケジュール



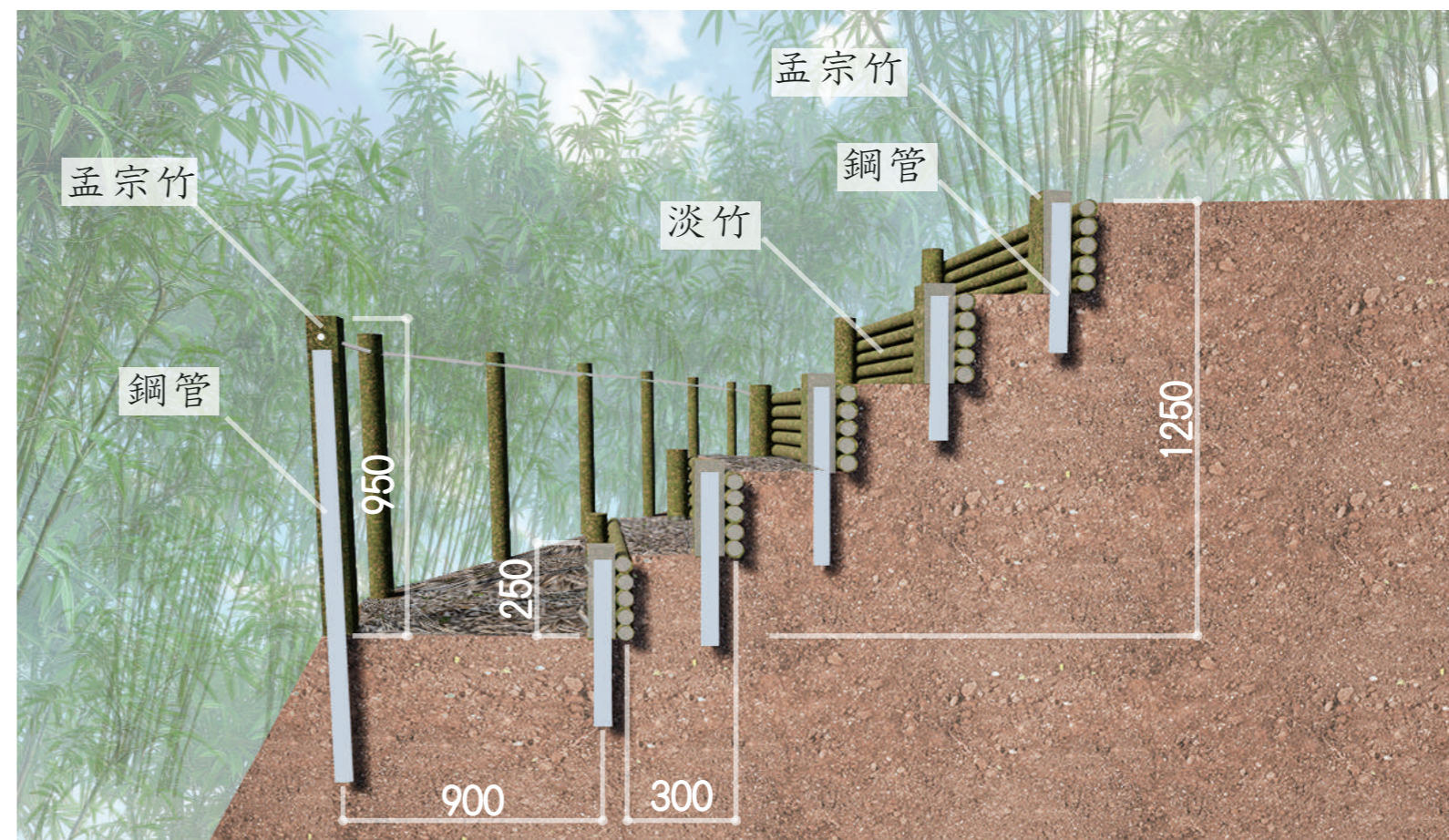
でらわきを設楽町の地域連携のハブとしての役割を持たせることで、地域と外部を繋ぐ場として機能させる。また、活動内容に関して、設楽町のきれいな星空を堪能できる星空テラスの製作、でらわきと隣接するかこうぼとの往來を容易にする山道及び階段の整備、かこうぼのウッドデッキの改修を行う。

03 成果物

○山道整備 (山道)



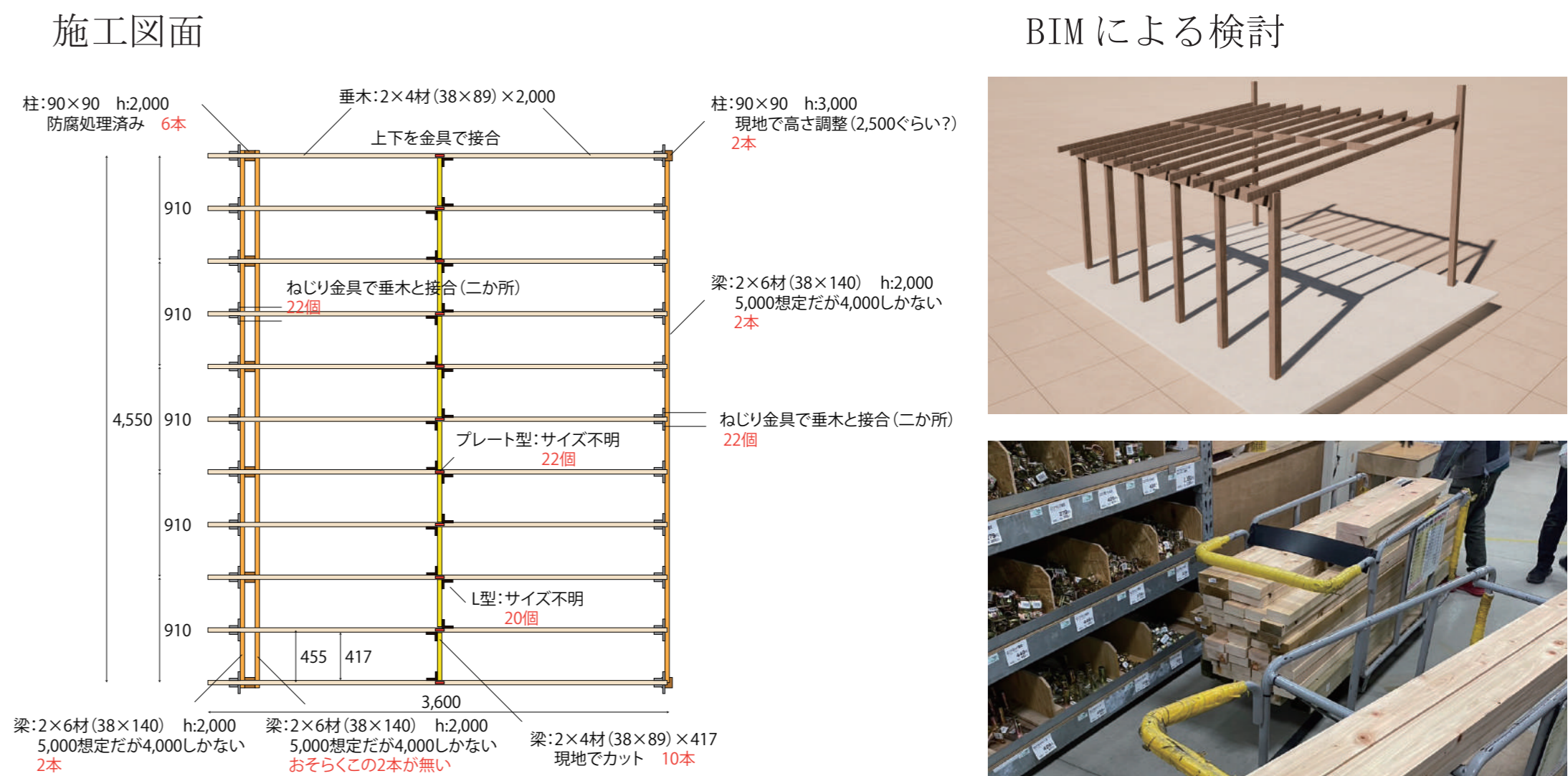
○山道整備 (階段)



○星空テラス



○ウッドデッキ



山道の整備では、道を確保することから始め、竹の伐採や整地を行い、高低差がある場合には階段を設置した。階段や手すりには伐採した竹を用いて有効活用をし、自然に溶け込むデザインとした。何度も試作や検討を繰り返し、耐久性や風雨にも耐性のあるつくりとし、誰でも利用しやすいものとした。

1月頃からウッドデッキおよびその屋根の施行WSを実施しようと考えていたが、雪の影響のために実施することができなかった。材料や施工図面、BIMによる検討は終えているため、4月頃に再度実施しようと考えている。実施にあたり、ZOOMでのミーティングを行い、当日の作業の確認や懸念点等を議論した。

04 SDGs・地域連携・社会貢献



本プロジェクトにおいて森林および放置竹林の伐採および管理、設楽町の未来のために手入れを行い、森林の未来に少しでも寄与できる取り組みを行うことができた。また、伐採した木や竹を星空デッキの座面や階段の土留め等に有効利用することで、伐採後の新たな可能性を微力ではあるものの示すことができた。

設楽町の現状を知ること、関係人口の創出につなげることを目的としたWSに参加したことで設楽町の現状を把握することができた。また、まちの今後においてどのようにして関係人口の増加につなげていくかが最大の課題であり、学生が関わることの意義についても改めて認識をした。